

東海化学工業会会報

## 原稿執筆要項

### 1 会報の目的

「会員相互の理解親睦を深め以て会の品格を高めるのを目的とする。」

内容：学術的論説は避け、随筆、意見、感想、旅行記など肩の凝らない文章を載せる。

(昭和 39 年 10 月 15 日 第 1 回会報編集委員会)

### 2 発行回数

年 4 回とし、4 月、7 月、10 月、1 月に刊行する。

### 3 原稿

#### 3.1 分量

1 ページ 1,600 文字 (40 字×40 行) 程度とします。題名、本文、図表、写真を合わせて、原稿の枚数は仕上がりで 1~6 頁程度です。題名は 500 文字程度、図表、写真は 1 点 300~400 文字程度で換算してください。原稿全体の分量は、仕上がりで、表 1 に示す程度とお考えください。

表 1 分量の目安

項目	分量
挨拶・談話会報告・セミナー開催報告 原稿	1~2 頁
自由投稿欄 原稿	5 頁
東海化学工業会賞受賞記念特集 原稿	3 頁
東化工からの案内	0.5~1 頁
関連学協会の協賛行事	0.5~1 頁

#### 3.2 作成

文章は Word、図表は Excel または PowerPoint などで作成してください。写真は jpg などでご準備ください。

- ◎ 原稿はモノクロで印刷されます。多色の図表、写真は本来の色調を失いますのでご注意ください。
- ◎ それぞれのファイルを E-mail でお送りください。
- ◎ 会報は、B5 版の大きさで、刷り上がりは、1 ページが 1 行 20 字×40 行の 2 段組みで計 1,600 字となります。ただし、原稿の種別によっては、1 段組にする場合があります。印刷時の体裁については、編集委員会にご一任ください。

#### 3.3 構成

原稿の構成は以下のとおりです。

##### (1) 題名と著者写真

原稿刷り上がりの際には、この部分が約 1/3 ページ分 (500 文字程度) のスペースを占めます。著者の顔写真を電子ファイルでご提出ください。

## (2) 本文

本文中の大見出し，中見出し，小見出しは，**1, 2, 3, 1.1, 1.2, 1.3, 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3**（最後尾にピリオドなし）などとして，そのうしろにスペースを置き，**表題とともに太字体**にしてください。**2**以降の大見出しの前は1行空けてください。

- ◎ 数字と英字はすべて Times New Roman で書き，年号以外の4桁以上の数値は3桁ごとにカンマを入れてください（例えば，96,500）。
- ◎ 数値と単位の間スペースを置いてください（例えば，5 kg, 60 kW/h, 80 kcal/mol, 5 mg mL<sup>-1</sup>）。
- ◎ 化合物名は IUPAC 命名法に従い，略記号で表す場合は最初に出てくる箇所で正式化合物名とカッコ内に略記号を記して下さい。化合物以外でもあまりなじみのない略記号は，最初に出てくる箇所で正式名称を記してください（例えば，tetrahydrofuran (THF), Material Safety Data Sheet (MSDS)）。
- ◎ ひらがなと漢字の使い分けについては，別紙の Excel ファイルをご参照ください。

## (3) 参考文献（必要に応じて）

本文中の引用箇所に上付きで 1), 2), 3,4), 5-9) のように通し番号を付け，本文の最後に**参考文献**としてまとめて下さい。引用の様式は，以下の例に準拠してください。

- 1) T. Tokai, H. Kagaku, *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **20**, 501 (2008).
- 2) 東海太郎，化学花子，化学と工業，**61**, 721 (2008).
- 3) 東海太郎，大東海化学会第41年会講演要旨集，p.392 (1992).
- 4) 化学花子，“ケモメトリックス”，p.69 (1992)，(丸善).
- 5) 東海太郎，化学花子，“水の分析”，第4版，日本分析化学会北海道支部編，p.445 (1994)，(化学同人).
- 6) 日本分析化学会北海道支部編，“水の分析”，第4版，(1994)，(化学同人).
- 7) 東海太郎，化学花子，“新規な機能を有する単分子薄膜”，特開 2008-1000.
- 8) JIS H 1286，ニッケル合金中のチタン定量方法 (1999).
- 9) 経済産業省，“エタノール混合ガソリンの国内流通インフラへの影響”，  
<<http://www.meti.go.jp/report/downloadfiles/g31017b40j.pdf>>，(2009年8月20日確認).

印刷時の体裁の統一については，編集委員会にご一任ください。

## (4) 著者情報

氏名（日本語および英語），所属・勤務先，役職・身分，連絡先の E-mail が原稿の1ページ目の欄外に配置されます。連絡先については，希望される場合のみで E-mail の公開とします。これらは原稿の分量には影響しません。

## 3.4 図表，写真について

- ◎ 図表はオリジナルの Word, Excel, PowerPoint ファイルなどとして，本文と独立させてご提出ください。文字化けの恐れがある場合は，それぞれを PDF ファイルにしたものも添付ください。ご協力をよろしくお願いします。
- ◎ 図表の位置については，本文中に埋め込んでいただいても結構ですが，そうでない場合には，本文中に挿入位置を指定してください。
- ◎ 図 1，表 2，写真 3（最後尾にピリオドなし）のように表記し，表題と説明を付けてください。

#### 4 著作権

原稿の著作権は原則として東海化学工業会に帰属するものいたしますが、著者が他に利用されることはかまいません。

#### 5 問合せ先

原稿の作成と提出についてご不明な点は、東海化学工業会事務局担当に E-mail にてお問い合わせください。

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル7階

東海化学工業会 (事務局担当: 竹村 初美)

E-mail: tcia@cstc.or.jp

TEL : (052) 231-3070 FAX : (052) 204-1469

#### 6 付記

1. 執筆要領を、令和4（2022）年1月19日に改訂する。
2. 軽微な文言の修正を2022年2月26日に編集委員長が行った。

以上